

平成22年2月期 第2四半期決算短信

平成21年10月5日

上場取引所 東

上場会社名 カッパ・クリエイティブ株式会社
 コード番号 7421 URL <http://www.kappa-create.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年10月14日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 徳山 桂一
 (氏名) 中井 鉄太郎

TEL 048-650-5100

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年2月期第2四半期の連結業績(平成21年3月1日～平成21年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年2月期第2四半期	45,550	—	3,905	—	3,841	—	1,855	—
21年2月期第2四半期	38,269	15.2	3,297	82.0	3,397	83.9	1,507	16.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年2月期第2四半期	100.29	95.50
21年2月期第2四半期	65.96	60.90

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年2月期第2四半期	55,707	21,433	38.2	1,150.65
21年2月期	62,245	20,231	32.3	1,085.34

(参考) 自己資本 22年2月期第2四半期 21,285百万円 21年2月期 20,076百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年2月期	—	—	—	35.00	35.00
22年2月期	—	—	—	—	—
22年2月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年2月期の連結業績予想(平成21年3月1日～平成22年2月28日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	87,470	13.1	5,880	13.3	5,690	8.4	2,600	44.0	139.35

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年2月期第2四半期 23,318,650株 21年2月期 23,318,650株

② 期末自己株式数 22年2月期第2四半期 4,820,175株 21年2月期 4,820,175株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年2月期第2四半期 18,498,475株 21年2月期第2四半期 22,848,323株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間において、わが国経済は一部で景気の底打ち感が見られる中、外食業界におきましては個人消費の低迷が長期化の様相を呈し、一層厳しい経営環境が続いております。

このような状況下で当社グループは、引き続きお客様に安価でおいしい商品を提供出来る様、経営の効率化に向けて日々改善改革に取り組んでまいりました。

予てから実施してまいりました「ランチ90」は、季節感を持たせた商品キャンペーンとチラシ宣伝、そして店舗改装との相乗効果により、引き続き好調を維持し既存店売上高の拡大に貢献してまいりました。さらに一部店舗において「平日終日90円」を試験展開し、検証を重ねながら導入店舗数の拡大を目指す事となりました。

商品、仕入れにつきましては、原油価格の高騰などによる漁獲量の減少や世界的な魚介類の需要の拡大による仕入競争の激化に対応出来る様、新たな商品買付ルートの開拓やお客様の視線に立った主力商品の開発を重ねてまいりました。

また投資回収のシミュレーションの精度向上により新規出店店舗につきましては、好調な売上を維持しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は455億50百万円、営業利益は39億5百万円、経常利益は38億41百万円、四半期純利益は18億55百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結累計期間末における総資産は、557億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ65億37百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が65億15百万円減少、有価証券が15億円減少、有形固定資産が14億1百万円増加したことによるものであります。

負債の部は、342億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ77億40百万円減少いたしました。これは主に、1年内償還予定の社債が100億円減少、買掛金が11億14百万円増加、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が4億62百万円増加したことによるものであります。

純資産の部は、214億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億2百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が12億7百万円増加したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フローが57億47百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが16億53百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが101億5百万円の支出した結果、前連結会計年度末より60億11百万円減少し、43億13百万円（前連結会計年度末は103億25百万円）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、57億47百万円（前年同期は得られた資金53億61百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益34億76百万円、減価償却費12億90百万円、仕入債務の増加11億14百万円等による増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は16億53百万円（前年同期は使用した資金52億86百万円）となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入110億43百万円、定期預金の預入による支出70億39百万円、有価証券の取得による支出20億円、有形固定資産の取得による支出28億8百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は101億5百万円（前年同期は得られた資金46億11百万円）となりました。これは主に、長期借入れによる収入40億87百万円、社債の償還による支出100億円、長期借入金の返済による支出36億24百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

本日開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、平成21年4月6日に公表致しました連結業績予想について下記のとおり修正しております。

平成22年2月期通期連結業績予想値の修正（平成21年3月1日～平成22年2月28日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	86,000	5,740	5,510	2,500	135.15
今回修正予想(B)	87,470	5,880	5,690	2,600	139.35
増減額(B-A)	1,470	140	180	100	
増減率	1.7	2.4	3.3	4.0	
(ご参考)前期通期実績	77,311	5,189	5,250	1,805	87.27

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

・固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末に使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

・引当金計上基準等について、一部簡便的な手続きを用いております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

なお、この変更による営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,814,556	16,330,434
売掛金	110,027	262,312
有価証券	2,500,000	4,000,000
商品及び製品	438,265	558,728
原材料及び貯蔵品	134,835	144,908
繰延税金資産	350,306	312,037
未収入金	240,870	270,971
その他	1,474,740	1,179,423
貸倒引当金	△11,716	△20,350
流動資産合計	15,051,885	23,038,466
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,610,687	32,096,327
機械装置及び運搬具	634,681	607,677
工具、器具及び備品	4,404,375	4,682,552
土地	3,559,052	3,519,052
建設仮勘定	457,435	809,101
減価償却累計額	△16,672,723	△16,122,986
有形固定資産合計	26,993,508	25,591,724
無形固定資産		
のれん	1,753	1,972
その他	219,389	215,814
無形固定資産合計	221,142	217,786
投資その他の資産		
投資有価証券	26,497	7,196
繰延税金資産	995,557	970,417
敷金及び保証金	10,560,626	10,729,153
その他	2,005,422	1,827,918
貸倒引当金	△146,700	△137,160
投資その他の資産合計	13,441,404	13,397,524
固定資産合計	40,656,055	39,207,036
資産合計	55,707,940	62,245,502

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,247,386	3,133,034
短期借入金	1,020,000	950,000
1年内償還予定の社債	—	10,000,000
1年内返済予定の長期借入金	6,625,190	6,407,920
未払金	1,600,725	1,353,317
未払費用	1,899,209	1,543,257
未払法人税等	1,791,772	1,663,518
未払消費税等	381,901	310,232
賞与引当金	382,903	278,502
株主優待引当金	5,953	64,000
その他	729,217	960,114
流動負債合計	18,684,259	26,663,897
固定負債		
長期借入金	14,773,015	14,527,435
預り保証金	51,820	51,920
退職給付引当金	606,938	578,287
その他	158,074	192,794
固定負債合計	15,589,848	15,350,436
負債合計	34,274,107	42,014,334
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,551,570	9,551,570
資本剰余金	8,566,392	8,566,392
利益剰余金	12,220,051	11,012,215
自己株式	△9,053,385	△9,053,385
株主資本合計	21,284,629	20,076,793
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	642	347
評価・換算差額等合計	642	347
新株予約権	58,602	33,757
少数株主持分	89,958	120,270
純資産合計	21,433,833	20,231,167
負債純資産合計	55,707,940	62,245,502

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)
売上高	45,550,804
売上原価	17,176,322
売上総利益	28,374,481
販売費及び一般管理費	24,469,114
営業利益	3,905,366
営業外収益	
受取利息	82,050
受取家賃	85,974
雑収入	52,031
営業外収益合計	220,056
営業外費用	
支払利息	185,334
賃貸収入原価	74,244
雑損失	24,060
営業外費用合計	283,639
経常利益	3,841,783
特別利益	
貸倒引当金戻入額	8,543
違約金収入	3,387
特別利益合計	11,930
特別損失	
固定資産除却損	36,683
店舗閉鎖損失	185,534
減損損失	154,623
特別損失合計	376,841
税金等調整前四半期純利益	3,476,872
法人税、住民税及び事業税	1,715,511
法人税等調整額	△63,609
法人税等合計	1,651,901
少数株主損失(△)	△30,311
四半期純利益	1,855,282

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成21年3月1日
至 平成21年8月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,476,872
減価償却費	1,290,348
減損損失	154,623
のれん償却額	219
退職給付引当金の増減額(△は減少)	28,651
株式報酬費用	24,845
貸倒引当金の増減額(△は減少)	907
賞与引当金の増減額(△は減少)	104,401
受取利息及び受取配当金	△82,220
支払利息	185,334
固定資産除却損	36,683
店舗閉鎖損失	185,534
売上債権の増減額(△は増加)	152,285
たな卸資産の増減額(△は増加)	130,537
仕入債務の増減額(△は減少)	1,114,351
未払消費税等の増減額(△は減少)	71,670
その他	671,213
小計	7,546,253
利息及び配当金の受取額	39,622
利息の支払額	△189,043
リース料支払額	△45,201
法人税等の支払額	△1,604,032
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,747,599
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△7,039,408
定期預金の払戻による収入	11,043,308
有価証券の取得による支出	△2,000,000
有形固定資産の取得による支出	△2,808,611
固定資産の除却による支出	△21,087
無形固定資産の取得による支出	△9,548
短期貸付金の増減額(△は増加)	△216,158
敷金及び保証金の差入による支出	△599,713
敷金及び保証金の回収による収入	250,603
長期前払費用の取得による支出	△234,998
その他	△18,041
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,653,653
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	70,000
長期借入れによる収入	4,087,000
長期借入金の返済による支出	△3,624,149
社債の償還による支出	△10,000,000
配当金の支払額	△638,775
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,105,924
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,011,978
現金及び現金同等物の期首残高	10,325,334
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,313,356

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

区分	前中間連結会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)		
	金額 (千円)	百分比 (%)	
I 売上高		38,269,408	100.0
II 売上原価		14,389,355	37.6
売上総利益		23,880,053	62.4
III 販売費及び一般管理費			
1. 給料手当	9,603,940		
2. 賞与引当金繰入額	329,662		
3. 退職給付費用	66,470		
4. 地代家賃	2,993,988		
5. その他	7,588,307	20,582,369	53.8
営業利益		3,297,684	8.6
IV 営業外収益			
1. 受取利息	81,428		
2. 受取配当金	428		
3. 持分法投資利益	22,549		
4. 保険代行手数料	911		
5. 受取販売協力金	11,904		
6. 家賃収入	59,508		
7. 補助金収入	56,665		
8. 雑収入	25,461	258,857	0.7
V 営業外費用			
1. 支払利息	86,024		
2. 貸貸原価	59,709		
3. 雑損失	13,432	159,166	0.4
經常利益		3,397,375	8.9
VI 特別利益			
1. 固定資産売却益	1,394		
2. 貸倒引当金戻入益	1,855	3,249	0.0
VII 特別損失			
1. 固定資産売却損	7,952		
2. 固定資産除却損	249,482		
3. 減損損失	292,757	550,192	1.5
税金等調整前中間純利益		2,850,432	7.4
法人税、住民税及び事業税	1,325,117		
法人税等調整額	18,016	1,343,133	3.5
中間純利益		1,507,299	3.9

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	2,850,432
減価償却費	1,033,674
持分法投資利益	△22,549
退職給付引当金の増加額	23,612
貸倒引当金の減少額	△1,855
賞与引当金の増加額	46,355
受取利息及び配当金	△81,856
支払利息	86,024
固定資産除却損	249,482
固定資産売却益	△1,394
固定資産売却損	7,952
減損損失	292,757
売上債権の増加(△)額	△7,205
たな卸資産の減少額	141,501
仕入債務の増加額	755,316
未払消費税等の増加額	36,200
その他	560,273
小計	5,968,722
利息及び配当金の受取額	43,235
利息の支払額	△100,871
リース債務の支払額	△73,944
法人税等の支払額	△475,807
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,361,335

	前中間連結会計期間 (自 平成20年3月1日 至 平成20年8月31日)
区分	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期性預金の預入による支出	△11,002,400
定期性預金の払戻による収入	5,026,500
有価証券の償還による収入	5,000,000
有形固定資産の売却による収入	2,099
有形固定資産の取得による支出	△2,970,650
有形固定資産の除却に係る撤去費用等の支出	△47,503
無形固定資産の取得による支出	△11,418
長期貸付金の回収による収入	932
敷金及び差入保証金の預託による支出	△693,938
敷金及び差入保証金の回収による収入	284,326
長期前払費用の支出	△235,040
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△622,991
その他	△16,395
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,286,480
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	16,200,000
長期借入金の返済による支出	△2,123,028
自己株式取得による支出	△9,000,064
配当金の支払額	△465,556
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,611,350
IV 現金及び現金同等物の増加額	4,686,204
V 現金及び現金同等物の期首残高	9,784,079
VI 現金及び現金同等物の中間期末残高	14,470,283